

2007年度（平成20年3月期） 第3四半期連結業績概要

大日本住友製薬株式会社

2008年2月1日

経営成績

金額単位：億円 通期業績予想に対する進捗

	06年度3Q	07年度3Q	前年同期比		08/3期 予想	進捗率
			増減額	増減率		
売上高	1,959	1,992	33	1.7 %	2,670	74.6 %
営業利益	342	332	△ 10	△2.8 %	410	81.0 %
経常利益	333	333	△ 0	△0.1 %	402	82.7 %
四半期純利益	179	207	28	15.6 %	247	83.7 %

(注) 記載金額は億円未満を四捨五入しております。

売上高の増減要因

金額単位：億円

	06年度3Q	07年度3Q	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,959	1,992	33	1.7 %

(増収要因)

- ・戦略4製品の堅調な推移
- ・輸出の増加

(減収要因)

- ・物流拠点・システム統合に伴う前期末前倒し出荷の影響
- ・戦略4製品以外の既存製品の売上減少
- ・工業所有権収入の減少

戦略4製品の売上高

金額単位：億円

	06年度3Q	07年度3Q	前年同期比	
			増減額	増減率
アムロジン	454	501	47	10.3 %
ガスモチン	143	153	10	6.9 %
プロレナール	106	113	7	6.8 %
メロペン	110	115	5	4.4 %
戦略製品 計	813	882	69	8.4 %

(注) 売上高は、国内売上高でリベート控除前で記載しております。

売上原価・販売費及び一般管理費

金額単位：億円

	06年度3Q		07年度3Q		前年同期比	
		対売上高 比率		対売上高 比率	増減額	増減率
売上高	1,959	—	1,992	—	33	1.7%
売上原価	739	37.7 %	740	37.2 %	1	0.2%
売上総利益	1,220	62.3 %	1,252	62.8 %	32	2.6%
販売費及び一般管理費	878	44.9 %	920	46.1 %	42	4.7%
販売費・一般管理費	566	29.0 %	582	29.2 %	16	2.8%
研究開発費	312	15.9 %	338	16.9 %	26	8.3%
営業利益	342	17.4 %	332	16.7 %	△10	△2.8%

(注) 売上原価には返品調整引当金繰入額を含めて記載しております。

(売上原価)

- ・利益貢献度の高い戦略製品の売上増加により売上原価率が改善

(販売費及び一般管理費)

- ・広告宣伝費の増加
- ・研究開発費の増加

営業外損益及び特別損益

金額単位：億円

	06年度3Q	07年度3Q	前年同期比 増減額
営業利益	342	332	△ 10
営業外収支	△ 9	1	9
金融収支(受取配当金を含む)	7	12	5
寄付金	△ 9	△ 10	△ 1
その他	△ 7	△ 1	6
経常利益	333	333	△ 0
特別損益	△ 35	—	35
特別退職金	△ 29		29
退職給付制度改定に伴う損失	△ 6		6
法人税等・少数株主利益	△ 119	△ 126	△ 7
四半期純利益	179	207	28

2007年度通期業績予想

金額単位：億円

	06年度	07年度	
	年間実績	業績予想	増減額
売上高	2,612	2,670	58
営業利益	456	410	△46
経常利益	432	402	△30
当期純利益	226	247	21
研究開発費	409	470	61

* 2007年度業績予想は昨年11月に公表した数値を変更しておりません。

臨床開発 進捗状況

AD-5423(ブロナンセリン)：承認(薬価収載待ち)に変更

SMP-508(レパグリニド)：国内第Ⅲ相に変更



ルラシドンの海外開発

実施中の試験

■ 統合失調症

● プラセボ対照第Ⅲ相試験 (PEARL #1)

➤ 試験計画概要

- 目標症例数: 480例 (4群)
- 治験実施国: アメリカ、フランス、ロシア 他
- 試験デザイン: 無作為割付、二重盲検、並行群間比較
- 評価項目: PANSS、CGI-Sなど

➤ 10月25日、スクリーニング開始。順調に進捗。

● プラセボ及び実薬対照第Ⅲ相試験 (PEARL #2)

➤ 試験計画概要

- 目標症例数: 480例 (4群)
- 対照薬: オランザピン
- 治験実施国: アメリカ、インド 他
- 試験デザイン: 無作為割付、二重盲検、並行群間比較
- 評価項目: PANSS、CGI-Sなど

➤ 2月上旬、スクリーニング開始予定

**Program to
Evaluate the
Antipsychotic
Response to
Lurasidone**

ルラシドンの海外開発

計画中の試験

■ 統合失調症

- 長期安全性投与試験 (PEARL safety) : 2008年度中に開始予定

■ 双極性障害

- 第Ⅲ相試験を2008年度中に開始予定

■ 認知機能障害

- 他剤との差別目的でデータを取得



将来予測に関する注意事項

この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

医薬品(開発中のものを含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。